

チャレンジプロジェクトコーディネーター能力研修を開催

1. 報告

チャレンジセンターでは、学生がプロジェクト活動の体験を通じて「自ら考える力・集い力・挑み力・成し遂げ力」を身に付けられるよう、学生を支援する※チャレンジプロジェクトコーディネーター（以下コーディネーター）を各プロジェクトに配置するとともに、コーディネーターの支援スキル向上を目的とした研修会を定期的に行っています。本研修会はその一環として行われるもので、年に一度、各校舎のコーディネーターが一同に会し、face to faceでプロジェクト支援の課題を共有し合い、その改善に役立てるためのプロジェクトマネジメントについて学びます。

これまでは湘南キャンパスで行っていた本研修を、今年度は、6月11・12日の2日間にわたり熊本・阿蘇キャンパスにて実施し、5キャンパスより28名の教職員が参加しました。両日ともに本センター堀本麻由子准教授が講師を務め、1日目は熊本キャンパスにおいて、プロジェクト支援に活用できる「ケーススタディ」について理論を学んだ後、予めコーディネーターに記述を依頼したワークシートをもとに各班においてコーディネーターが抱えるケース（課題、問題の事例）について話し合いました。2日目は阿蘇キャンパスにおいて、学生の自己関心（self-interest）をプロジェクトに活かす「コーチング」理論について学ぶとともに、ペアになって互いをインタビューし合うことを通じて相手の関心や熱意を理解する「One-on-One Interview」のワークを行いました。

研修終了後、各校舎の施設見学やチャレンジプロジェクトの学生達と交流するなど、参加したコーディネーターにとって学生支援に活かす理論とワークを学ぶだけでなく、キャンパスや所属部署の枠を超えた大学職員同士の意見交換が図れ、さらに本学について見聞を広げる機会となりました。

※チャレンジプロジェクトコーディネーター…各チャレンジプロジェクトにおいて学生の活動をサポートする担当職員。

